

定時制通信



宮城県古川工業高等学校

令和6年9月13日発行

スポーツ大会



7月18日（木）に行われたスポーツ大会の種目は、定時制で初めて実施されたペタンクです。

ペタンクはフランス発祥のスポーツで日本での競技人口は40万人ほどですが、フランスでは500万人以上が楽しんでいると言われています。初めて体験する生徒がほとんどでしたが、クラス対抗戦ということもありクラスごと協力し合い、楽しく競技することができました。

進路ガイダンス

7月17日（水）進路ガイダンスを開講しました。

1・2年生は、美里町地域おこし協力隊員の桜井志朗氏より講話がありました。社会の理不尽さへの対応の仕方、就職に向けて高校生のうちに取り組んだ方がよいことや、学校の勉強やコミュニケーション力を高めておくことが大事だと、とてもわかりやすく具体的にお話しいただきました。生徒たちそれぞれが、進路講話で学んだことを自己の進路希望の実現に向け努力をしてほしいと思います。

3年生は、本校進路指導部長の宇津木博教諭による一年後の進路決定までに意識すべきことや進路選択のポイントについての講話でした。さらに、クレパリン検査やSPIなど就職試験に向けた演習も行いました。

4年生は、進路コーディネーターの安住さち子氏を招き、就職試験に向けて、講話と面接指導をしていただきました。企業はどんな人材を求めているのか、面接の心構えや実際の礼の仕方、姿勢、服装、挨拶の仕方など、今後の就職活動に向けてとても活かされる内容でした。それぞれ学年の生徒たちが、進路ガイダンスの講話や経験を生かして自己の進路希望の実現に向け努力をしてほしいと思います。



全国高等学校定時制通信制体育大会

柔道部

8月4日(日)に講道館(東京都)で全国定通体育大会の第55回柔道大会が行われました。

一年電気科の村田一真君は、男子個人 65kg 級に出場し、2 回戦で兵庫県の松本選手に一本負け、一年機械科の水戸部亮君は宮城県団体チーム副将として出場し、同じく 2 回戦で富山県チームに一本負けし、チームも2-3で敗れました。

出場した選手は、両名とも 1 年生でこの大会で全国のレベルを知り、この経験を糧にして現在も日々の部活動で、限られた時間を有効に使い、技と心の向上に励んでいます。



陸上競技部

8月13日～15日に東京駒沢オリンピック公園総合運動場において、高橋大葵君(電気科4年)が第59回全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技大会に出場しました。

宮城県高等学校定時制通信制体育大会陸上競技大会では、男子400M第1位、男子200M第3位という輝かしい成績を残しました。県代表として200M走及び400M走、並びに4×400Mリレーに出場し、予選敗退となりましたが、全力を尽くしました。大会をとおして大葵君は次のような感想を述べました。

「全国大会に出場できたことは、自分にとって大きな自信となり、高校最後の陸上競技は楽しい思い出となりました。」

応援していただいた生徒の皆さん、先生方に厚く御礼申し上げます。

